

あおば

(茨城)

心と心をつなぐコミュニケーションの「鍵」！ 注目の美容グッズ「スタンピングネイルアート」

人

と人とのつながりが希薄になりつつある。社会全体が元気を取り戻すためには、コミュニケーションのきつかけとなる「ツール」が不可欠！

と力説するのは茨城県西部の下妻市で美容室・介護事業・ヘルパー養成事業などを展開する株式会社あおばの宇田川真由美社長だ。



宇田川 真由美 社長

宇田川社長は大学卒業後、IT技術者として活躍。結婚・出産を機になじみの無い下妻に転居し、そこで出会ったママ友達と協力して同社を運営してきた。

「仲間と当番で子守りをしてながら訪問介護を始めました。近所の方々にもお世話になり、その時、人と人とのつながりの重要性を痛感しました」(宇田川社長)

地域に欠かせない存在に成長した同社は、顧客ニーズに応える形で事業領域を拡大。介護と美容の融合に取り組み、現在は「スタンピングネイルアート」の普及に尽力している。

スタンピングネイルアートは、韓国のコナド社が開発した世界中で愛用されている美容グッズ。豊富なデザインと色を組み合わせて爪にスタンピングするだけで誰でも簡単にネイルアートを楽しめる。スタンピングは素早く乾き、原理は単純ながら幅広い使い方ができ、奥が深い。同社はこれを介護現場

場で「コミュニケーションツール」として導入している。

近年、介護の現場では若者の離職率が進行。中でも、コミュニケーションを苦に退職するスタッフは少なくない。こうした現状を打破する上で、スタンピングネイルアートが大きく貢献しているという。

「それまで笑顔を見せることのなかった高齢者の爪にスタンピングをすると、とても素敵な笑顔を浮かべて爪を何度も眺めていました。また、左手の不自由な方の爪にスタンピングをすると、右手で左手を持ち上げて爪を眺めていました。高齢者とスタッフの心と心をつなぐ「鍵」になり、リハビリにも思いがけない効果を発揮しています」(宇田川社長)



「スタンピングネイルアート」スペシャルセット

本コナド(株)発足時から同社に積極的に関わってきた宇田川社長。現在、異業種間の垣根を取り払い業務提携している。これにより、介護に携わる個人個人とビジネスをも結びつける考えだ。

女性の就業支援にも！ 全国でスクールも展開

宇田川社長は様々な分野でのスタンピングネイルアートの応用を企画し、インストラクターとして全国各地スクールも開講している。

「アイデア一つでスタンピングネイルアートの可能性は無限に広がります。自身の感性を生かし、子育てをしながら自宅でできる仕事や趣味として挑戦してほしいですね」(宇田川社長)



介護の現場で大活躍！

失われつつある「フューリストロフェイス」のコミュニケーションを生み、女性のビジネスチャンスを生み出すツールとして期待されるスタンピングネイルアート。美容室やリゾートホテルなどで新たなサービスとして採用される例も増えている。現在、同社では販売協力者を随時募集中だ。(森)

【会社データ】
本社 茨城県下妻市南原1-24-1
☎ 0296-4416204
設立 2001年1月
資本金 1000万円
従業員数 44名
事業内容 介護事業、養成事業、美容事業
<http://www.aoba-homehelp.com>